



2021年 11月15日
第84号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



イーハトーブ

11月15日号

10月31日、第49回衆議院議員選挙。投票しましたか？

投票した人は5890万1622人で投票率は55.93%でした。

結果として与党が選挙前より議席は減らしたものの絶対安定多数を確保しました。

投票に行っても何も変わらないのか？

投票に行かないから何も変わらないのか？

日本は超高齢社会に突入し、さらに勢いを増してますます高齢化が進んでいます。与党は高齢者に重きを置いた政策をさらに掲げていくと思われる。実際、高齢者の年金や介護の予算は年々増えています。その予算を確保するため、働く世代が負担する税金が高くなっていきます。

みなさんの応援のおかげで横浜地本が推薦する候補者を4名国政へ送り出すことが出来ました。

私たちの働き方が大きく変わろうとしているこの時代に、労働者の意見を伝えることはとても重要なことです。また、若者や労働者の負担が増えて、子どもが減り、さらに高齢化が進むという悪循環になっているのが日本の現状です。子どもたちや、仕事から引退した高齢者を支えるには、労働者が生き生きと働いて、幸せに生活できる日本にしていく必要があります。

来年夏は参議院議員選挙があります。自らの将来に直結する政治に今以上に関心を持ち投票へ行きましょう。(Y・N)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。